

ろうそくのあかり

炎を見ていると昔を思い出す
ほんのり暖かい穏やかなあかりで

それまで暗かった部屋の中だけでなく
沈んだ気持ちもふっと和らげる

心が疲れて荒んでしまっても
どうにか明日を迎えられるようだ

やり場のなかった見つめるところまで
燃えるその中に視点与えてくれる

ギクシャクしている二人の会話ですら
目を合わさないで話しやすくなる

ろうそくのあかり映し出すものが全てが
自分の顔でさえ優しく見えている

影のうつろいお互い眺めては
存在感ゆるぎの中に